

リメイク浴衣を ドンドン アップ



買い取り中のリメイクした浴衣

同社広報部の工藤知世さんは「東京支社を設置して全国展開をしているが、本社は盛岡。地場企業でありながら、これまでさんさに参加してこなかった。

工藤さんは「各店にはリメイクした浴衣を展示している。着なくなったスカートをカットして、袖にしたりしても構わない。自由にリメイクしてもらえば」と話す。

さんさの参加に当たっては、同社の特性を出すためリメイクの浴衣を着て参加。しかも、顧客がリメイクしたオリジナル浴衣を着る。

6月28日まで7着集まった。工藤さんは「リメイクした浴衣は、私たちが着て本番に踊る。リメイクした本人が、自分も本番に着て出たいと考えている。ぜひ当社のチームに参加を。みんなでさんさを盛り上げ、盛岡をさらに元気にした」と話していた。

参加予定者は50人で、50人分の浴衣が必要。リメイク浴衣を作成したいと考えている顧客は、盛岡市内の3店（盛岡南店、月が丘店、イオンスーパーセンター一洩民店）で受け付け。

生地などが無い場合は、浴衣1着500円（一時預かり金）として貸し出す。リメイクした浴衣は、受け付け

買い取って盛岡さんさ出場

盛岡市菜園のドンドンアップ（岡本昭史社長）は31日まで、顧客がリメイクした浴衣の買い取りを行っている。創業22年目の地場企業として、初参加する盛岡さんさ踊りに着て出場する。顧客の浴衣を着て、さんさを盛り上げる。

は2009人に増え、矢中町と東京都武蔵村山市に倉庫を構えながら、さらなる店舗展開を目指している。

同社は、リサイクルオン ウェンズデ 普及させ、チェーン展

古着店「ドンドンタウン」を全国に60店舗を開いている。スタッフ

問い合わせはドンドンアップ（電話621-8250）まで。